

日教組香川 2023.6



発行所 日教組香川教職員組合
〒760-0008 高松市中野町15-24
佐藤ビル1F
TEL 087-802-1640
FAX 087-802-1642
URL <http://www.jtu-k.com/>
E-mail jtukagawa@circus.ocn.ne.jp
発行人 嶋村太伸
毎月1日発行

日教組香川組合員がEI「LGBTI+の権利と インクルージョンのための組合戦略」で発表!! (詳細は3面に)



Education International

5月2日、教育インターナショナル(EI)は、「LGBTI+の権利とインクルージョンのための組合戦略」を開催し、世界各国の

教職員組合の組合員がWebで参加しました。会議では、EIからの報告を受け、世界7か国から、それぞれ提起をしました。

日本からは、EIに唯一参加している日教組を代表して日教組香川の組合員が日本や香川の現状をレポートしました。

処遇改善ではなく、時間外勤務0時間にむけて

(詳細は2面に)

香教組でもない、香教連でもない、高教組でもない

全国で一番なかまの多い日教組香川へ

日教組香川

HP



Instagram



Facebook



日教組

公式LINE



好評連載中

5面

2023年度 三豊市立高瀬中学夜間学級について
城之内 庸仁(一般社団法人基礎教育保障研究所 理事長)

6面

授業で使える小わざや小ネタ
石原 清貴(元小学校教員)

4. 28文科省「教員勤務実態調査【速報値】」発表

上限時間を大きく上回る

早急な業務削減と定数改善が不可欠

昨年度、文部科学省は、教師の勤務実態や働き方改革の進捗状況等を把握・分析することを目的として教員勤務実態調査を実施しました。その速報値が、4月28日に公表されるとともに、その速報値に対して日教組は書記長談話を発信しました。

なお、文科省「教員勤務実態調査（2022年度）【速報値】」は、以下の文科省HPで公表されています。

https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/mext_01232.html

処遇改善に惑わされずに

給特法の廃止を要求しよう!!

教員勤務実態調査（令和4年度）集計【速報値】

～勤務時間の時系列変化～

- 教師の勤務実態に関する調査を令和4年度に実施し、令和5年4月28日に速報値を公表。
- 前回調査（平成28年度）と比較して、平日・土日ともに、全ての職種において在校等時間が減少したものの、依然として長時間勤務の教師が多い状況。

調査対象 小学校1,200校、中学校1,200校、高等学校300校に勤務するフルタイムの常勤教員（校長、副校長、教頭、教諭等）

調査日程 令和4年8月、10月、11月のうち、連続する7日間について調査。

【8月期】（小・中各400校、高等学校100校） 8月1日（月）～8月7日（日）、8月8日（月）～8月14日（日）
8月15日（月）～8月21日（日）、8月22日（月）～8月28日（日）
【10月期】（小・中各400校、高等学校100校） 10月3日（月）～10月9日（日）、又は10月17日（月）～10月23日（日）
又は10月24日（月）～10月30日（日）
【11月期】（小・中各400校、高等学校100校） 11月7日（月）～11月13日（日）、又は11月14日（月）～11月20日（日）
（予備週：11月28日（月）～12月4日（日））

教師の1日当たりの在校等時間（10・11月）

（時間：分）

平日	小学校			中学校			高等学校 （表裏）
	平成28年度	令和4年度	増減	平成28年度	令和4年度	増減	令和4年度
校長	10:37	10:23	-0:14	10:37	10:10	-0:27	9:37
副校長・教頭	12:12	11:45	-0:27	12:06	11:42	-0:24	10:56
教諭	11:15	10:45	-0:30	11:32	11:01	-0:31	10:06
土日	小学校			中学校			高等学校 （表裏）
	平成28年度	令和4年度	増減	平成28年度	令和4年度	増減	令和4年度
校長	1:29	0:49	-0:40	1:59	1:07	-0:52	1:37
副校長・教頭	1:49	0:59	-0:50	2:06	1:16	-0:50	1:18
教諭	1:07	0:36	-0:31	3:22	2:18	-1:04	2:14

※平成28年度調査と同様に、1分未満の時間は切り捨てて表示。
※「教諭」には主幹教諭・指導教諭を含む。

教員勤務実態調査（令和4年度）集計【速報値】～10・11月の業務内容別の在校等時間（1日当たり）～

- 平日については、主に、「授業（主担当）」、「朝の業務」、「学習指導の時間」〔小学校〕が増加し、「学校行事」、「成績処理」〔小学校〕、「学校経営」〔小学校〕、「学年・学級経営」〔中学校〕、「生徒指導（集団）」〔中学校〕の時間が減少している。
- 土日については、主に、「学校行事」、「部活動・クラブ活動」〔中学校〕の時間が減少している。

平日（教諭のみ）	小学校			中学校			土日（教諭のみ）	小学校			中学校		
	平成28年度	令和4年度	増減	平成28年度	令和4年度	増減		平成28年度	令和4年度	増減	平成28年度	令和4年度	増減
朝の業務	0:35	0:41	+0:06	0:37	0:44	+0:07	朝の業務	0:02	0:05	-0:02	0:01	0:00	-0:01
授業（主担当）	4:06	4:13	+0:07	3:05	3:16	+0:11	授業（主担当）	0:07	0:02	-0:05	0:03	0:01	-0:02
授業（補助）	0:19	0:20	+0:01	0:21	0:23	+0:02	授業（補助）	0:01	0:00	-0:01	0:00	0:00	±0:00
授業準備	1:17	1:16	-0:01	1:26	1:23	-0:03	授業準備	0:13	0:10	-0:03	0:13	0:11	-0:02
学習指導	0:15	0:21	+0:06	0:09	0:13	+0:04	学習指導	0:00	0:00	±0:00	0:01	0:00	-0:01
成績処理	0:23	0:25	+0:02	0:38	0:38	-0:02	成績処理	0:05	0:04	-0:01	0:13	0:12	-0:01
生徒指導（個別）	1:00	0:59	-0:01	1:02	0:54	-0:08	生徒指導（個別）	0:02	0:00	-0:02	0:01	0:00	-0:01
うち、生徒指導（集団）	—	0:56	—	—	0:49	—	うち、生徒指導（集団）	—	0:00	—	—	0:00	—
うち、生徒指導（表裏）	—	0:02	—	—	0:05	—	うち、生徒指導（表裏）	—	0:00	—	—	0:00	—
生徒指導（表裏）	0:05	0:04	-0:01	0:18	0:14	-0:04	生徒指導（表裏）	0:00	0:00	±0:00	0:01	0:00	-0:01
部活動・クラブ活動	0:07	0:03	-0:04	0:41	0:37	-0:04	部活動・クラブ活動	0:04	0:01	-0:03	2:09	1:29	-0:40
児童会・生徒会活動	0:03	0:02	-0:01	0:06	0:05	-0:01	児童会・生徒会活動	0:00	0:00	±0:00	0:00	0:00	±0:00
学校行事	0:26	0:15	-0:11	0:27	0:15	-0:12	学校行事	0:09	0:04	-0:05	0:11	0:03	-0:08
学年・学級経営	0:23	0:19	-0:04	0:37	0:27	-0:10	学年・学級経営	0:03	0:01	-0:02	0:04	0:02	-0:02
学校経営	0:22	0:17	-0:05	0:31	0:17	-0:04	学校経営	0:03	0:02	-0:01	0:03	0:02	-0:01
職員会議・学年会などの会議	0:20	0:19	-0:01	0:19	0:18	-0:01	職員会議・学年会などの会議	0:00	0:00	±0:00	0:00	0:00	±0:00
個別の打ち合わせ	0:04	0:05	+0:01	0:06	0:06	±0:00	個別の打ち合わせ	0:00	0:00	±0:00	0:00	0:00	±0:00
事務（調査への回答）	0:01	0:04	+0:03	0:01	0:04	+0:03	事務（調査への回答）	0:00	0:00	±0:00	0:00	0:00	±0:00
事務（学級会議関連）	0:01	0:01	±0:00	0:01	0:01	±0:00	事務（学級会議関連）	0:00	0:00	±0:00	0:00	0:00	±0:00
事務（その他）	0:15	0:15	±0:00	0:17	0:17	±0:00	事務（その他）	0:02	0:02	±0:00	0:02	0:03	+0:01
校内研修	0:13	0:09	-0:04	0:06	0:04	-0:02	校内研修	0:01	0:00	-0:01	0:00	0:00	±0:00
保護者・PTA対応	0:07	0:06	-0:01	0:10	0:09	-0:01	保護者・PTA対応	0:03	0:00	-0:03	0:03	0:00	-0:03
地域対応	0:01	0:00	-0:01	0:01	0:00	-0:01	地域対応	0:02	0:00	-0:02	0:01	0:00	-0:01
行政・関係団体対応	0:02	0:01	-0:01	0:01	0:01	±0:00	行政・関係団体対応	0:00	0:00	±0:00	0:00	0:00	±0:00
校務としての研修	0:13	0:08	-0:05	0:12	0:09	-0:03	校務としての研修	0:00	0:00	±0:00	0:01	0:00	-0:01
会議	0:05	0:03	-0:02	0:07	0:05	-0:02	会議	0:00	0:00	±0:00	0:01	0:00	-0:01
その他の校務	0:11	0:08	-0:03	0:10	0:09	-0:01	その他の校務	0:01	0:00	-0:01	0:04	0:02	-0:02

※平成28年度調査と同様に、1分未満の時間は切り捨てて表示。
※平成28年度で5分以上増減のあるものについて増減率を記載している。
※「教諭」には主幹教諭・指導教諭を含む。

日教組書記長談話

本日、文科省は「教員勤務実態調査（2022年度）集計【速報値】」を公表した。

調査結果によると、平日1日「平均」の在校等時間と持ち帰り時間の合計は小学校11時間22分（時間外3時間37分）、中学校11時間33分（同3時間48分）、高校10時間35分（同2時間50分）であった。時間外分を1か月（20日）で計算すると、小学校72時間20分、中学校76時間、高校56時間40分であり、いずれの校種でも給特法及び条例等にもとづく上限時間（月45時間）を大きく上回っている。また、休日分を加えると、すべての校種で過労死ラインの80時間を超え、特に中学校では100時間を超えている。連合総研調査や日教組調査と同様の実態が改めて浮き彫りになった。改正給特法が施行されてから3年が経過したにもかかわらず、長時間労働の是正に至っていないことは看過できない。

教職員の精神疾患、離職、欠員を減らすとともに、志望する若者を増やすためにも、正規の勤務時間内に授業の準備や成績処理等を終えられるような業務量とすることが必要である。そのためにも、早急な業務削減と持ち授業時数の上限設定を含めた定数改善が不可欠である。

今回の速報値の公表に先立って行われた文科省の調査研究会等では、給特法について、あくまで枠組みを維持し、教職調整額の見直しや新たな手当の創設等を行うべきとの意見が挙げられている。しかし、処遇面の措置で長時間労働は是正されない。教員は様々な業務におわれ、授業の準備や成績処理等を正規の勤務時間外に行わざるを得ない現状にある。にもかかわらず、給特法があるために、正規の勤務時間外に行う超勤4項目以外の業務については「自主的・自発的」に行っているという実態と乖離した法的評価がされてしまっている。給特法の廃止・抜本的見直しを行い、民間労働者と同様に、教員についても業務に従事した時間を「勤務時間」と認めるべきである。さらに、長時間労働を抑制させるためにも、時間外勤務手当・休日勤務手当を支給させるという財政的サンクションを課せるようにする必要がある。今後、行われる中教審においては、このような議論が行われるべきである。

日教組は、教職員の生活時間を取り戻し、だれもが安心して働き続けられる職場、すべての子どもにゆたかな学びを保障する学校をめざし、「学校の働き方改革」のとりくみを強化する。

5.14春の教育研究実践講座

元気に学校行けたかなあ

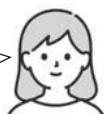
日教組香川は、5月14日(日)、ふらっと仏生山で、「春の教育研究実践講座—明日から元気に学校に行くために！！—」を開講しました。当日は、講師や参加者の関係で3講座に縮小開催になりましたが、参加者からまた次回を楽しみにしたいという声が寄せられました。

第1講「子どものみかた—認知が変わると対応が変わる—」では、森川宏子(スクールカウンセラー)さんから、教師が「発達障害」や「愛着障害」などの特性を知ること、子どもの見方が変わることで、「できないこと=悪いこと」ではないという認識に立つ大切さや、担任一人で対応するのが難しい、学級に複数の発達障害の児童がいるケースや愛着障害のケースなどへの対応についての話がありました。また、教員自身が自分の得意なことや苦手なことを知り、児童の特性に応じた自分に合う指導方法を試みていこうと提起がありました。



初めの講義で話があった「愛着障害」は聞いたことがありませんでした。似た行動があっても対応の仕方は子どもによって違うことを学びました。

「愛着障害」について、とても興味深い話が聞けた。障がいがある子の対応方も、分かりやすく簡潔にまとめてくれていたので、頭の中がスッキリした。



第1講



第2講

第2講「学級指導のコツ(こうやったほうがうまくいくんじゃないかなあ?!)」では、沢地淳(東・大内小)さんから、実際の学級経営で行っている「当番活動や係活動」「集団遊び」「整列や集合」についての説明



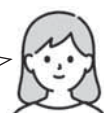
第3講

がありました。教員は、どうしても100%を求めてしまいそうになりがちなので、80%を目安に求めすぎないで「よい加減」を心がけることが大切であることも話していました。さらに、子どもたちが気持ちよくすごすために「やらなくてもいいこと・やってはいけないこと」の具体的な事例も挙げてくれました。



学級経営では求めすぎないことも大切と言うことを聞いて安心しました。

給食当番や掃除当番の決め方や指導の方法についてよく分かった。1週間交代でローテーションする方法は目からウロコだった。



第3講「授業に役立つ小ネタ集」では、松岡弘秋(さ・長尾小)さんからは、「文字さがしの動物園」「穴うめシャウト問題集」「さすらいのギャングラー」などの小ネタの紹介や、ラッピングタイを使った「キラキラ指輪」「皿回し」などの紹介などがありました。そして、実際に参加者でつくってみたい、皿回しを体験してみたりして楽しい時間を過ごしました。



たくさんの楽しくなるようなアイデアやアイテムを教えていただいて自分も楽しくなっていました。

皿回しに挑戦して、なかなか回らなかった皿が回った時は無茶苦茶うれしかったです。どうしても皿回しをマスターしたくてセットを借りて帰りました。上手くできたので動画を送ります。



1面からの続き

教育インターナショナル(EI)は、世界178カ国・地域の3200万人を超える教職員を代表する教育の国際産別組織で、すべての子どもたちのための質の高い無償の公教育、教職員の地位や賃金労働条件の改善、平和・人権・民主主義の尊重などを推進するためにグローバルレベルでとりくんでおり、OECDやユネスコなどの国際機関のパートナーとしての役割も果たしています。

そのEIに日本からは唯一日教組が加盟しています。

このEIは、第8回EI世界総会(2019年)において、「教職員、労働組合、グローバルコミュニティの一員として、私たちは、学校でのインクルージョンと多様性を促進し、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、インターセックス、その他の性別が多様な(LGBTI+)教職員と子どもたちの基本的権利を保護する上で、重要な役割を果たしている」ことを確認しましたが、一方で、まだまだ多くの課題が残っています。

登壇された他の7カ国の組合代表の方々が、組織としての取り組みを発表されていた中で一個人のことを発表するのは場違いのような気がしましたが、ここ数年間日教組香川の皆さんのお力を借りて取り組んだ私個人の変化を発表させていただきました。他国では、ヘイトの機運も確実に高まっていること、LGBTI+の問題は宗教的な要素も関わっているということが画面上からも伝わってきました。短い時間でしたが、貴重な経験をさせていただきました。



5.15 沖縄平和行進

「初めて沖縄に行って 自分の変化を感じた」

3月16日、米軍普天間飛行場の名護市辺野古への移設をめぐり、防衛省が申請した設計変更を不承認とした沖縄県の処分に対し、福岡高裁那覇支部は、県の請求を退けました。これは、国追従の判決であり断じて許すことはできません。また、沖縄には米軍基地だけでなく、石垣島等南西諸島において、自衛隊の基地の建設がすすめられています。このことにより日米軍事一体化はさらにすすみ、有事となれば、国境の島である与那国やミサイルが配備される石垣、宮古、与勝、奄美大島の住民が



ガマ



平和行進スタート

犠牲になる可能性が高く、再び沖縄を戦場にしようとしていることは許されません。

沖縄が日本に復帰して51年を迎える中、改めて沖縄の内実を知り、県民とともに在日米軍基地の縮小・撤去、日米地位協定の抜本的な改定を求めていく必要があります。

今年も沖縄で「5・15平和行進」が行われ、日教組は平和運動を次世代に継承するため、沖縄県教組・沖縄高教組とともに全国から大勢の参加をしました。日教組香川からは書記の藤田博美さんが参加しました。

私はこれまで沖縄戦についての知識や興味がほとんどありませんでしたが、今回初めて沖縄に行って自分の変化を感じられました。

初日の学習会では頭がついて行けなかったのですが、2日目の平和行進や平和祈念資料館の見学を経たことで、戦争や米軍基地の問題が徐々に分かってきました。3日目のフィールドワークでは真っ暗なガマに入って行き、当時の人たちの状況をほんの少しですが疑似体験できたと思います。

香川に戻ってから、新聞に沖縄のことが載っていると読むようになりました。現地に行ってその空気を感じることは大事ですね。貴重な機会をありがとうございました。

藤田博美（書記）



5.1 メーデー開催

多様性の社会を求めて

5月1日、連合香川は、サンポート多目的広場で、香川県メーデー中央集会を開催しました。

今年のテーマは、「支え合い・助け合う社会をつくり、暮らしをまもる！笑顔あふれる未来をめざし力を合わせ、ともにすすもう」で、「多様性を認め、人権を尊重し、持続可

能な社会をめざそう」と福家連合香川会長のあいさつもありました。

今年のメーデーは、県下5会場で行われました。また、例年のお楽しみ抽選会だけではなく、フード・ドライブやトルコ・シリア地震救済カンパも実施されました。



本田由紀さん

誰もが尊重され安心できる 社会をつくろう！

5月3日（水）、レクザムホールで、平和憲法を生かす香川県民会による総会と、香川県出身の東京大学大学院教育学研究科教授の本田由紀さんによる「生活と生存が脅かされる日本社会の現状」の記念講演がありました。

そして、「誰もがそれぞれに尊重され、可能性を發揮することができる社会。安心して生きることができる社会。これはすでに日本国憲法に書き込まれている。日本国憲法に沿った社会を作ろうとする政治家を市民が選ばなければならない」と話されました。

2023年度 三豊市立高瀬中学夜間学級について(1)

城之内 庸仁(一般社団法人 基礎教育保障研究会 理事長)

2022年4月14日に開校した三豊市立高瀬中学夜間学級は2年目を迎えました。今年度は10～50歳代の6名が希望を胸に入学し、1・2年生合わせて18名になりました。

学齢期の生徒は、2022度は3年生1名が転入・卒業し、今年度は2022度2月下旬から体験入級を開始した2名の学齢期生徒が4月に転入しています。本稿では、2023年度の三豊市立高瀬中学夜間学級の生徒・教職員の構成、時間割、授業時数、主な年間行事予定などを紹介します。

1 活動状況

(1) 現在の生徒数 18 名

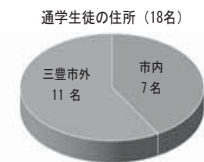
年齢別生徒数

生徒年齢	学齢期	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
1年生	0	2	0	1	3	2	0	0	0	8
2年生	2	2	1	0	2	2	0	0	1	10

学齢期体験
0名

(2) 現在の教職員構成

教職員15名
校長、教頭、常勤：5名、
非常勤講師：6名、
養護教諭：1名、学校事務：1名



(3) 学習時間及び教育課程

- ① 夜間学級の基本の時間割は17時25分からの4限となっている。
- ② 学齢期生徒は、不登校特例校として必要な標準的授業時数に満たないため、内容を補完する必要がある。そこで、週に3日は16時40分からの授業をおこなっている。

【日課表】

時 間	夜間学級生徒	学齢期生徒
16:40～16:45		始めの会
16:45～17:25		0校時
17:25～17:30	始めの会	
17:30～18:10	1校時	1校時
18:15～18:55	2校時	2校時
18:55～19:15	休憩(補食)	休憩(補食)
19:15～19:55	3校時	3校時
20:00～20:40	4校時	4校時
20:40～20:50	帰りの会	帰りの会
20:50～	下 校	下 校

清掃は、毎月第2・4金曜日 1校時 学活(15分程度・隔週)で行う。

【年間授業時間表】

＜夜間学級 授業時数＞				
	1 学年	2 学年	3 学年	計
国 語	140	140	70	350
社 会	70	70	105	245
数 学	105	70	105	280
理 科	70	105	105	385
音 楽	35	35	35	105
美 術	35	35	35	105
保健体育	35	35	35	105
技術・家庭	35	35	35	105
外国語	105	105	105	315
道 徳	24	24	24	72
特別活動	24	24	24	72
総合的な学習の時間	22	22	22	66
合 計	700	700	700	2100

＜夜間 学齢期授業時数＞				
	1 学年	2 学年	3 学年	計
国 語	140	140	70	350
社 会	70	70	105	245
数 学	105	70	105	280
理 科	105	140	140	385
音 楽	35	35	35	105
美 術	35	35	35	105
保健体育	35	35	35	105
技術・家庭	35	35	35	105
外国語	105	105	105	315
道 徳	24	24	24	72
特別活動	24	24	24	72
総合的な学習の時間	22	22	22	66
ひなの時間	70	70	70	210
合 計	805	805	805	2415

＜参考：昼間 標準授業時数＞				
	1 学年	2 学年	3 学年	計
国 語	140	140	105	385
社 会	105	105	140	350
数 学	140	105	140	385
理 科	105	140	140	385
音 楽	45	35	35	115
美 術	45	35	35	115
保健体育	105	105	105	315
技術・家庭	70	70	35	175
外国語	140	140	140	420
道 徳	35	35	35	105
特別活動	35	35	35	105
総合的な学習の時間	50	70	70	190
合 計	1015	1015	1015	3045

＜留意事項＞

- 1 週あたりの授業時数
 - (1) 夜間学級生徒
20時間/週 1 単位時間は、40分とする
 - (2) 学齢期生徒
23時間/週 1 単位時間は、40分とする
- 2 ひなの時間
学齢期生徒の補充時間
- 3 学活 全学年、金曜日1時間目
道徳 全学年、月曜日 4 時間目
(学・道 に 『総合的な学習の時間』を含む)

授業で使える小わざや小ネタ③7(小3「大きな数」)

石原清貴(元小学校教員)

・一億の大きさを調べよう

「今日は皆さんにある物を配りますので、取りに来てください。」

といって教卓の上に1辺1mmの正方形の紙を置きます。子どもたち実物を見て

「ちっちゃ！何これ！何するの？」

と口々に聞いてきます。全員に配った後、

「これは1辺が1mmの正方形です。指の上にのせてください。小さいですね。」「今日の問題はこの1辺1mmの正方形を四角に1億枚並べるとどのくらいの広さになる？問題です。」

「ええ、1億枚も先生持っているの？」

「大丈夫、みんなに作ってもらいます」

「ええ、作れないよ。」

「誰でも作れるいい方法があるから大丈夫だよ。」

こんなやりとりをしながら、子どもたちに1辺1mmの正方形1億個を正方形に敷き詰めたらどのくらいの広さになるのかを予想を聞きます。

ア、机いっぱいぐらい

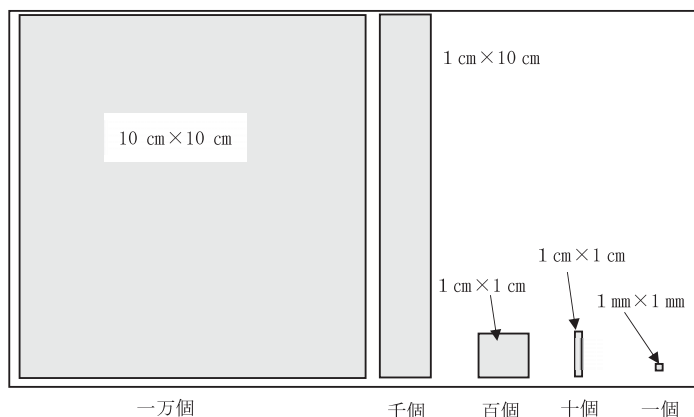
イ、畳1枚ぐらい

ウ、教室いっぱいぐらい

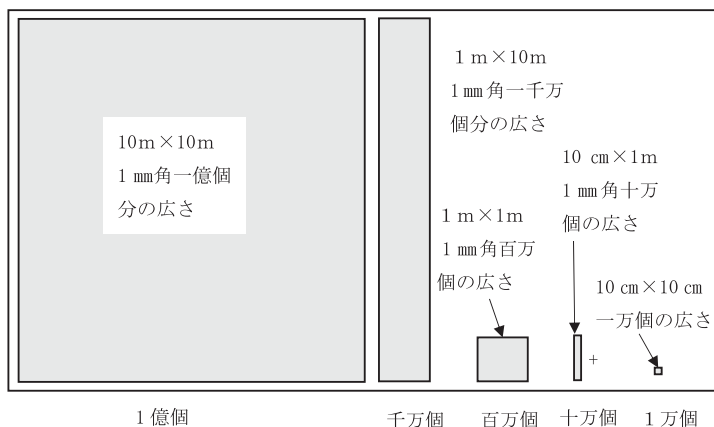
エ、教室より広い

子どもたちに予想を聞くとアとイがほとんどで教室いっぱいぐらいが数人で、教室より広くなると答える子はほとんどいません。理由を聞くと「こんなに小さいのが1億個集まったってそんなに広くはならないはず」という意見が多かったように思います。

・一億を作ろう(1mm角1万個までは1人1人で作り台紙に貼っておく)



方形が10万個集まった大きさである事を確認します。



<百万個作り>

1mm角百万個の広さは100cm×100cmの広さになります。これは床の上にテープで1m角の正方形を書き、その上に新聞紙を何枚か広げて1m×1mの正方形を作ります。

<一千万個作り>

百万個の1m×1mの紙を10枚つなげると1mm角一千万個分の広さができあがりますが、この段階で教室での作業が無理になります。そこで体育館に行って1m×10mの紙を作っていきます。

<一億万個作り>

この作業はこれまで各班に分かれて作ってきた1mm角一千万個分(1m×10m)の帯状の紙を持ち寄って10枚を並べ、10m×10mの広さの正方形に並べます。これが1mm角一億枚分の広さになります。

・授業の進め方

1mm角の一億個分の大きさ(10cm×10cm)は1mm方眼紙を使うと便利です。それ以上の大きさはその都度1万が10集まって10万個、10万が10集まって100万個、100万が10集まって1000万個、1000万個が10集まるので1億個というようにその都度確認しておかないと何を数えているのか忘れる子が出てきますから注意してください。(尚1m×1mの広さ・1mm角百万個までは黒板に掲示することができるので、その都度黒板に貼りだして個数の確認をした方がいいです。)

・おまけ

1mm角の正方形が1億個集まったらなんとバレーボール・コート半面の広さになる事に子どもはびっくりします。バレーボール・コート半面を覆った紙の上で記念写真を撮った後はみんなで新聞紙を破って遊びます。ずいぶんストレス発散になるようでなかなかやめてくれませんがこれも算数授業の楽しみかもしれません。

・ここから先は共同作業

<十萬個作り>

ここまでできると次は集団での作業になります。4人グループになり10cm角の色紙を子どもたちにセロテープで10枚貼ってもらい、10cm×1mの帯状の紙になる事を確認したあと、この大きさが1mm正



石原清貴氏

気持ちよく 安心して 働けていますか？

   **JTU-カフェ**  

Open → 6月15日(木)18:30~20:00

@ 日教組香川事務所(高松市中野町 15-24 佐藤ビル1F)

3年ぶりに【JTU-カフェ】を Open します！

飲み物とお菓子を用意してお待ちしております。ぜひお気軽にお越しくださいね。

組合員でない方も大歓迎です！ただし、お茶代 500 円いただきます。

引き続き電話・FAX でのご相談も引き続き承ります。

TEL: 0120-27-5925 FAX: 087-802-1642

パワハラ、セクハラ、マタハラ等、職場の人間関係で気になることなど、お気軽にご相談ください。相談には、日教組香川役員、臨床心理士が対応させていただきます。

総合共済

月掛金 **900円**

契約期間 5 年で、実質月掛金は 500 円になります

たとえばこんなとき、自転車で他人にケガを負わせてしまったら？



日常生活で

お子さまが
通学中に

「個人賠償責任補償」が
あなたとご家族を守ります



家庭訪問
中に

「教職員賠償責任補償」が
あなたを守ります

総合共済なら、日常の賠償事故も
業務中の賠償事故も
最高 3,000 万円まで補償！

それ以外にも
役立つ補償が10種類
ついています！

総合共済は
「自転車保険」としても
ご利用いただけます！

※総合共済は、教職員共済の「総合共済」と、損害保険ジャパン株式会社の「傷害総合保険」「業務過誤賠償責任保険」を組み合わせたものです。
※この広告は概要を説明したものです。ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書(契約概要・注意喚起情報)をご覧ください。

承19-企-25(1910) SJNK19-08956(2019.11.01)

資料請求はこちらから
スマホからもカンタンです！

教職員共済

Q 検索



厚生労働省認可

教職員共済生活協同組合 東四国事業所

〒760-0004 高松市西宝町2丁目6-40 香川県教育会館
電話 0120-27-8140 FAX 0800-200-2207

2024年度香川県公立学校 教員採用選考試験 今からでも受講できます！

対策講座実施中！

◆講座開講日と内容(2月から始まっています。どちらの会場でも受講できます。)

【大川会場】 三本松コミュニティセンター		【高松会場】 ふらっと仏生山 高松市仏生山交流センター	
・TAC 講座視聴「教育原理」「教育法規」「面接指導」「場面指導」他 ・専門教養対策 ・集団面接対策 ・教育諸課題 ・第1次試験直前対策 ・第2次試験直前対策 等(各回の詳細はお問合せください)			
	6/4(日)は高松会場に合流、特別講義「教育諸課題」	6	6/4(日) 13:00~15:00 12会議室
12	5/30(火) 19:00~21:00	7	6/18(土) 10:00~14:00 21会議室 (午後は自習時間)
13	6/6(火) 19:00~21:00		
14	6/13(火) 19:00~21:00	8	6/24(土) 10:00~14:00 21会議室 (午後は自習時間)
15	6/20(火) 19:00~21:00		
16	6/27(火) 19:00~21:00	9	7/8(土) 10:00~14:00 21会議室 (午後は自習時間)
17	7/4(火) 19:00~21:00		
18	7/11(火) 19:00~21:00	10	7/29(土) 10:00~14:00 21会議室 (午後は自習時間)
19	7/18(火) 19:00~21:00		
20	7/25(火) 19:00~21:00	11	8/5(土) 10:00~14:00 21会議室 (午後は自習時間)
21	8/1(火) 19:00~21:00		
22	8/8(火) 19:00~21:00	12	8/12(土) 10:00~14:00 21会議室 (午後は自習時間)
23	8/16(水) 19:00~21:00		

- ◆主催：日教組香川教職員組合(日教組香川)
- ◆講師：日教組香川組合員(現職教員、OB等)
資格の学校 TAC 講師(講座録画視聴)
- ◆対象：香川県の教員をめざす講師の方々
(臨時採用教職員、非常勤講師)等
- ◆定員：各会場10名程度(まだ余裕があります)
- ◆申込期限：随時受付、定員になりしだい受付終了
- ◆受講要件：日教組香川組合員になっていただき、
組合費を納入すると受講ができます。
組合費は、1000円/月です。加入月から納入してください。「給与天引き」もできます。

「資格の学校TAC」は、40年以上蓄積した合格するための独自メソッドを活用し、毎年多くの合格者を輩出している資格取得の専門予備校です。
今回、このTACと日教組がタッグを組み、教員採用試験対策講座を開催します。日教組香川では、この講座の配信を録画し、講座で視聴します。なお、TACの教員採用対策では、一番低額な講座で53,000円(税込)となっています。(HPから)

合格者の声 本講座に参加する度に、教授のポイントがどんどん明確になっていく実感がありました。また、何度も面接試験の練習かできたことで、落ち着いて本番に臨むことができました。応援してくださる先生、ともに学ぶなかまがいることも、とても心強かったです。

お申し込み、お問い合わせは

日教組香川



または

☎ 0120-27-5925 まで